

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度	「対象地域において、県・郡のオーナーシップのもと、小児医療従事者の技術が向上し、村落健康ボランティア等の健康啓発活動を通じて、小児医療に関する正しい知識が住民に定着することで、5歳未満児の受診数が増加する。」 各活動の企画・予算化・実施の全工程を協働で行う本事業を通し、特に郡レベルではオーナーシップの意識が向上した。 医療従事者を対象とする研修については、一部継続的学習効果が認められた。 また、学習内容は意識的に日常の実践で取り組まれていることも確認された。 住民への健康啓発活動に関しては、内容を理解すれば実践する努力が認められ、学習内容を実践する際の困難は認められたものの、村落健康普及委員会（VHC）による健康集会の開催を通じ村民の教育が進んでいる。 5歳未満児の外來受診数は、事業開始前の2016年と2018年を比較すると、ファムアン郡で約2.7倍、ソン郡で約1.6倍の増加であった。
(2) 事業内容	成果1に係る活動：5歳未満児に対する診療技術の向上 <u>1-2. 5歳未満児診察用の医療備品の配備</u> 1年次に引き続き、2か所の郡病院および13か所のヘルスセンターに小児診察関連医療備品を配布した。 また、2018年8月に発生した豪雨災害後に、被災時の対応能力のみならず平時からの機能強化の必要性を認めたファムアン郡病院および同郡ソプラオ小病院に医療備品を追加で購入した。 さらに、豪雨を経て診療に支障をきたすようになった同郡ヘルスセンター（1か所）の衛生状態を改善するため、屋根資材の提供を行った。 【追加購入・資材提供については変更報告済み】 <u>活動1-3-2. IMCIフォローアップ研修</u> 内容：1年次にトレーナー研修を受けた郡スタッフが、1年次の研修（活動1-3-1）の復習・強化を行った。郡病院で3日間、各郡2回実施した。 修了者：全ヘルスセンタースタッフおよび郡病院新人スタッフ、ファムアン郡28名、ソン郡20名 * IMCI：WHOやUNICEFが、医療資源の限られた地域で使用を推奨している、5歳未満児の死亡原因の上位をしめる下痢や肺炎に重点をおいた診断ツール。 <u>活動1-4. ヘルスセンターにおける共同技術監督</u> 内容：1年次に指導員研修（活動1-1）を受けた郡病院職員によるヘルスセンター訪問型技術監督にMdMチームが同行し、モニタリング支援・強化を行った。2018年8月に発生した豪雨災害支援に時間を要したため、ソン郡のヘルスセンター2か所のみの実施としたが、日本人小児医療・国

際保健専門家を同時に派遣し助言や指導を行った。同専門家は、共同監督のみならず、県郡保健局・病院、VHCとの意見交換や小病院でのケース勉強会などを通じて収集した情報をもとに派遣報告書にて技術監督内容および事業全体の評価および改善への提案を行った。

【回数削減については変更報告済み】

活動 1-5. ポケットブック（*）研修

内容：郡病院レベルで優先される小児診療項目に焦点をあて、医療研修用小児マネキン等模型を使用した実践的研修を、各郡病院にて3日間ずつ実施した。1回目の実施時は、県病院トレーナーを強化する目的で中央国立病院から小児科医を招へいた。

修了者：郡病院・母子保健課スタッフ、フアムアン郡 21 名、ソン郡 18 名

*ポケットブックとは、病院施設スタッフ向け小児診療ガイドブックの通称

活動 1-6. 研修企画・手法に関するトレーナー研修

内容：研修企画の作成手順、トレーナーと研修参加者の双方向的なワーク手法など、実践を通じた参加型研修を3日間実施した。

修了者：県病院・県保健局 4 名、郡病院・郡保健局 8 名

成果 2 に係る活動：村落における小児医療に関する正しい知識の普及

活動 2-1-2. 情報・教育・コミュニケーション（IEC：Information, Education and Communication）教材の作成

内容：VHC（Village Health Committee）が村落にて住民を対象にした教育活動において使用するため、フリップチャート増刷、村落活動用に健康啓発メッセージの印刷されたカバン教材等を製作・配布した。

配布対象：112村のVHC（約570名）や医療施設スタッフ。

*カバンは申請時の通り自己資金にて製作した

活動 2-3. VHC (Village Health Committee) メンバー対象研修

内容：全112村を対象とし、エリアを分けて1回につき3日間の研修を実施した。MdMは、県・郡保健局トレーナーと研修内容を協議し、必要教材などを準備し、研修実施のサポートを行った。

研修修了者：ソン郡6回計168名。フアムアン郡12回計394名。

活動 2-5-1. VHC による村落での健康普及教育サポート

内容：豪雨災害後、仮設住宅が建設されたフアムアン郡の4村を重点的にフォローアップした。県・郡保健局と合同で、被災直後の感染症対策アウトリーチを実施し、健康教育や村内の衛生状態・衛生習慣などを確認し、継続フォローを行った。

【内容変更については変更報告済み】

	活動2-5-2. 教訓共有・課題解決会議 豪雨災害に時間を要したため未実施 【内容変更については変更報告済み】 成果3に係る活動：関係者全員が課題を把握し、問題解決に向けて行動する 活動3. IMC (Implementation Monitoring Committee, プロジェクト実施管理委員会 *) ミーティング 2017年の振り返りと2018年活動についての具体協議を行った。 県レベル1回:県・郡関係者21名参加 ソン郡1回:出席者 カウンターパート13名 フアムアン郡1回:出席者カウンターパート12名 * 委員会は、国レベルから郡レベルまでの関係者代表(約30名)から構成されるが、外務省・保健省からの参加はなかった。												
(3) 達成された成果	* 指標番号は活動番号に照合する【詳細は添付資料にて解説】 指標1-2. 「2年次予定小児医療備品配備が全対象施設で完了する」 ⇒達成:全15対象施設にて完了。追加配布2施設へも完了。 指標1-3-2. 「事前テスト結果が事後テスト結果を上回る。事後テスト結果平均65%以上」 ⇒達成 【事前テスト・事後テスト結果(郡別, 100点満点)】 <table><tr><td></td><td>事前テスト平均</td><td>事後テスト平均</td><td>参加者(N)</td></tr><tr><td>ソン郡</td><td>83.7</td><td>99.3</td><td>20</td></tr><tr><td>フアムアン郡</td><td>54.9</td><td>94.8</td><td>28</td></tr></table> 指標1-4. 「各施設における共同スーパービジョン(技術監督)において、スーパービジョンツールの採点結果が向上する(各施設の成績結果の推移)」 ⇒計測不可 【理由】1年次・2年次ともに実施回数を減らした影響で、1年次と2年次の対象施設が異なり、比較ができなかった。ただし、活動1-4共同監督時に訪ねた2か所のヘルスセンターでは、IMCI研修内で指摘された事項の改善や、IMCIに基づいた処置が実践されていることが確認された。 指標1-5. 「活動1-4共同技術監督のスーパーバイザーとしての能力評価や日々の診療の自己評価活動(および評価結果)の確認などを通じた技術アセスメント。小児診療に関する評価ポイントはあらかじめリスト化し、7割のポ		事前テスト平均	事後テスト平均	参加者(N)	ソン郡	83.7	99.3	20	フアムアン郡	54.9	94.8	28
	事前テスト平均	事後テスト平均	参加者(N)										
ソン郡	83.7	99.3	20										
フアムアン郡	54.9	94.8	28										

イントにおいて合格基準に達していることを目標とする。」

⇒計測不可

【理由】2019 年 1 月に計画していた郡病院共同監修が、県病院の人手不足によりキャンセルされたため。

また、共同技術監修が定例化に至っていないため、評価ポイントのリスト化には至っておらず客観的評価は実施していない。ただし、2019 年 3 月に実施した自己回答形式の質問票回収結果（自己評価）から、Pocketbook 研修で学習した内容を意識的に実践していることが確認された。

指標1－6.

「事後テスト結果平均 7 割以上」

⇒達成

「受講したトレーナーは、活動 1－3－2（IMCI 臨床研修）および、2－3（VHC 研修）の研修について、工夫点を列挙して計画し、説明できる。」

⇒活動 1－3－2 では、「臨床」に集中しているためまだ研修手法への細かい配慮に欠けるが、活動 2－3 においては、特に研修手法に改善が見られた。

【事前テスト・事後テスト結果(郡別, 100点満点)】

	事前テスト	事後テスト	参加者(N)
平均スコア	23	73	14

*14 名中名は世界の医療団スタッフ

成果2. 住民の小児疾病, 疾病予防に対する理解が高まり, 適切な受診行動が促される。

指標2－1－2.

「対象者全員に教材配布を完了する」

⇒達成

指標2－3.

「研修受講者が受講前よりも理解を深め, 新たな知識を得る(終了時の質疑応答の結果もしくは事前・事後テスト結果)」

⇒達成

【事前テスト・事後テスト結果(郡別, 100点満点)】

	事前テスト平均	事後テスト平均	参加者(N)
ソン郡	79. 5	97. 4	168
ファムアン郡	67. 9	97. 5	394

指標2－5－1.

「VHC の働きかけで健康教育集会に参加する村民が前年度よりも増える」

	「健康普及教育活動に参加した村人が VHC の健康普及活動の改善を実感する(解説の明瞭性, 具体性, 日ごろの活動頻度, 積極性などの項目の6割以上で「以前よりよくなった」と回答される)」 ⇒ある程度達成 (2019 年 3 月実施の 8 村への評価モニタリングより, VHC と村民に対するインタビュー結果, 村民の理解度や VHC の回答より判断) <u>VHC の責務遂行</u>: ある程度の役割分担のうえ遂行。村によってはチームワーク強化や, 役割の明確化と各役割強化の余地あり。 <u>健康教育集会の実践</u>: 8 村中 6 村が 2019 年に入ってから健康集会を開催していた。また, 健康集会を定例化している村は 8 村中 3 村であった。 <u>住民による健康集会への参加</u>: 村内の家族数が 100 を超える村は, 健康集会に参加したことがない人口層が多くなる傾向が示唆された。 <u>住民の理解度・実践度</u>: 健康集会未参加グループと健康集会既参加グループへの聞き取り結果を比較すると, 既参加者グループの方が理解度や実践度が高いことが示唆された。 指標2-5-2. 「前会議で策定されたアクションプランが70%以上実行されている」 * 指標 2-5-2 (2017 年: 活動 2-5-2) にて言及した郡レベルのアクションプランは, 指標 3-1 (2017 年: 活動 3-1) の県レベルのアクションプランに統合された。理由は, 郡レベルのレビュー会議(活動 2-5-2)は, 県レベルのレビュー会議(活動 3-1)に先立って実施され, 議題が重複したため。 成果3. 関係者全員が問題を把握し, 解決手段を考え, 実行する 指標3-1. 「1 年目に策定されたアクションプランが70%以上実行されている」 ⇒67%達成(15項目中10項目) 要・継続的取り組み 3 項目, 未実行 2 項目。未実行 2 項目は「IMC 会議を年 2 回に増やす」, 「カウンターパートとの調整会合を定例化する」であったが, 前者は洪水対応により 1 回に削減, 後者は日常的な県郡保健局および世界の医療団コーディネータ間のコミュニケーションを向上させることで補った。 要・継続的取り組み項目は, 本事業のサステナビリティに関する項目で, 事業期間を通じ議論を継続する必要がある。
--	--

(4) 持続発展性	1. 5歳未満児に対する診療技術の向上 県・郡各レベルにおいて、小児医療に関するトレーナーが育成され、それぞれが研修を開始した。対象2郡においては、ヘルスセンターレベルに小児医療研修を継続実施していく基盤ができた。県保健局は、研修を他郡へも展開したいと希望している。対象2郡における研修のモデル化が実現すれば、本事業終了後も県保健局が何を優先し予算化していくのかをより明確にできると考えられる。 また、共同監督活動の定例化を図り、配布した医療備品の維持管理状況チェックおよび使用方法の再指導、既学習内容の定着化に取り組む。 2. 村落における小児医療に関する正しい知識の普及 ボランティアであるVHCメンバーらのモチベーションアップは継続的課題である。2018年は、VHCの役割と責任範囲を明確にするため、郡保健局、ヘルスセンター、グループ村長およびVHCメンバーの間で覚書を交わした。 本事業において「サスティナビリティ」の要と認識されているVHCとヘルスセンターの強化および連携強化が3年次の課題である。この点は、上記指標3-1における要・継続的取り組み3項目のうちの一つである。 3年目は、郡レベルの健康教育トレーナーのリーダーシップのもと、VHC活動について考察・企画・実施する。 3. 関係者全員が問題を把握し、解決手段を考え実行する 2017年のIMC会議において、本事業におけるSustainabilityについて具体的に話し合った。村落レベルでの健康普及活動継続のためには、VHCとヘルスセンターの主体的な関わりが必須であるとの意見が出、また、それを引き出すための仕組みを作る責任は郡保健局にある、との意見にほぼ参加者全員が同意した。 2018年は、上記を意識して活動したが、仕組みの構築には至っていないため継続的に取り組む必要がある。しかし、例えば、豪雨災害時はVHCや村民を含む全員で最優先問題を見極め、解決手段を考え、世界の医療団は解決が困難かつ緊急性のある問題をサポートするという連携ができた。このように、1年次から築いてきた自己継続性を意識した関係性は強化されてきており、今後も発展可能と考えられる。
------------------	---